

EL3130K

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工するには、電気工事士の資格が必要です。
- 施工後、必ず施工主に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書などをお渡しください。
- 保証書に必ず必要事項を記入してください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

付属品	数量
●取付用なべタッピンネジ(4×25)(店番本体のボアに付属)……2本	●減光板……………1コ
●取付用なべ小ネジ(M4×8) (投・受光器取付用)……2本	●取付金具……………2コ
●取付用なべ小ネジ(M4×10) (投・受光器取付用)……2本	●パナソニック電気お客様相談窓口のご案内……1枚
●取付用なべタッピンネジ(4×16) (化粧フード取付用)……4本	●取扱説明書……………1枚
●取付用なべ小ネジ(M4×10) (化粧フード取付用)……8本	●保証書……………1枚
●Uボルト……………4コ	●施工説明書(本紙)……………1枚

安全上のご注意

必ずお守りください

警告	
必ず電源(AC100V)を切った状態で施工する。 活線工事は感電や故障の原因となります。	
AC100V用電源線は確実に締め付ける。 締め付けが不十分な場合、発熱するおそれがあります。火災や焼損の原因となります。	
水や雨のかかる場所(屋外など)および湿気の多い場所(浴室など)には設置しない。 感電の原因となります。	
小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。 発火・発煙の原因となります。	
絶対に分解(指定以外の分解)したり、修理・改造しない。 感電の原因となります。	

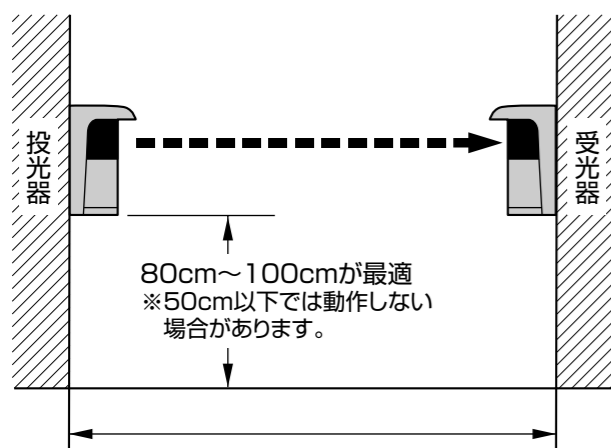
施工上のご注意

- 店番本体は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
- 店番本体のAC100V電源を入れてから、正常に検知できる状態になるまで約5秒かかります。
- 検知器および押ボタンなどの小勢力配線は、AC100V配線から50cm以上離してください。
- 配線の途中で電線接続する場合は、ハンダ付処理か圧着スリーブ処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。
(電線をよじっただけでは、接触不足や、長期間使用中に電線表面が酸化し接触不良をおこし、誤動作や動作しないなどの原因となります。)
- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

次のような場所には設置しないでください。(誤動作や故障の原因となります。)

<p>●カーテンなど検知エリア内に動くものがある場所 (検知エリアをカーテンが遮らないように取り付けてください。)</p>	<p>●汚水や海水のかかる場所</p>
<p>●検知エリア内に障害物のある場所 (ガラスの外は検知しません。)</p>	<p>●人や物が当たる場所 ぐらつきやすい不安定な場所</p>
<p>●受光器に太陽光やヘッドライトの直射光、反射光が当たる場所また強力な電氣的雑音が入る場所</p>	<p>●2台並行して取り付ける場合は投光器および受光器を同じ側に取り付けないでください (同じ側に取り付けると、もう一方の投光器の光が回り込み、動作しない場合があります。)</p>

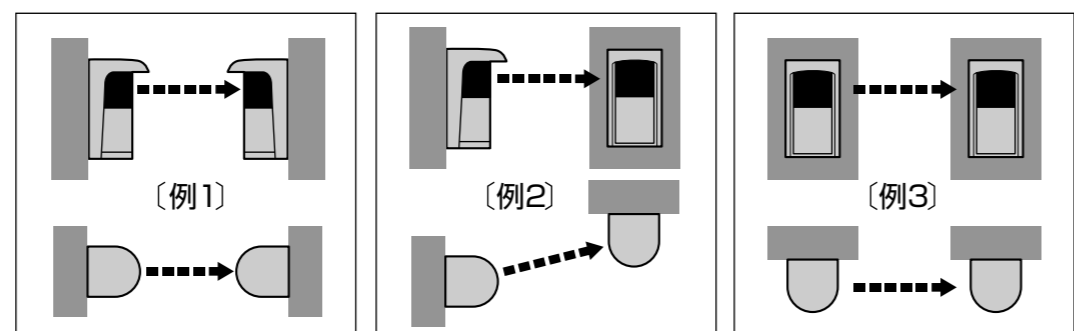
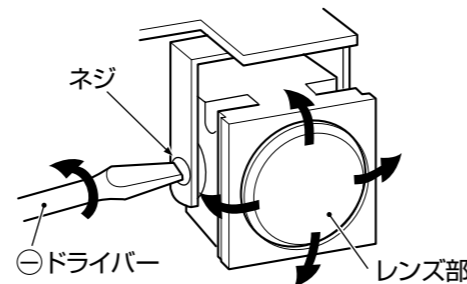
検知エリアの説明



- 投・受光器の有効検知距離は約30mです。(必ずこの範囲で使用してください。)

投・受光器の取付位置

- 投・受光器のレンズ部はネジをゆるめると、上下(40°)、左右(180°)に動き、各種方向(例1~3)の取り付けができます。



配線方法

- 接続する商品は別途お買い求めください。
- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

配線上的ご注意

- 音色の選択ができます。④端子への配線はお好みの音色に合わせて行ってください。
- ハイハイ店番4熱線式検知器(EL230421K)(別売)を接続している④端子には、ほかの検知器および受光器を接続しないでください。
- 来客報知用押ボタンは検知器および受光器が接続されている④端子へは接続しないでください。
(検知器および受光器と押ボタンの音色を区別するため)
- 熱線式検知器は赤外線式検知器の接続していない④端子に各2台まで接続できます。

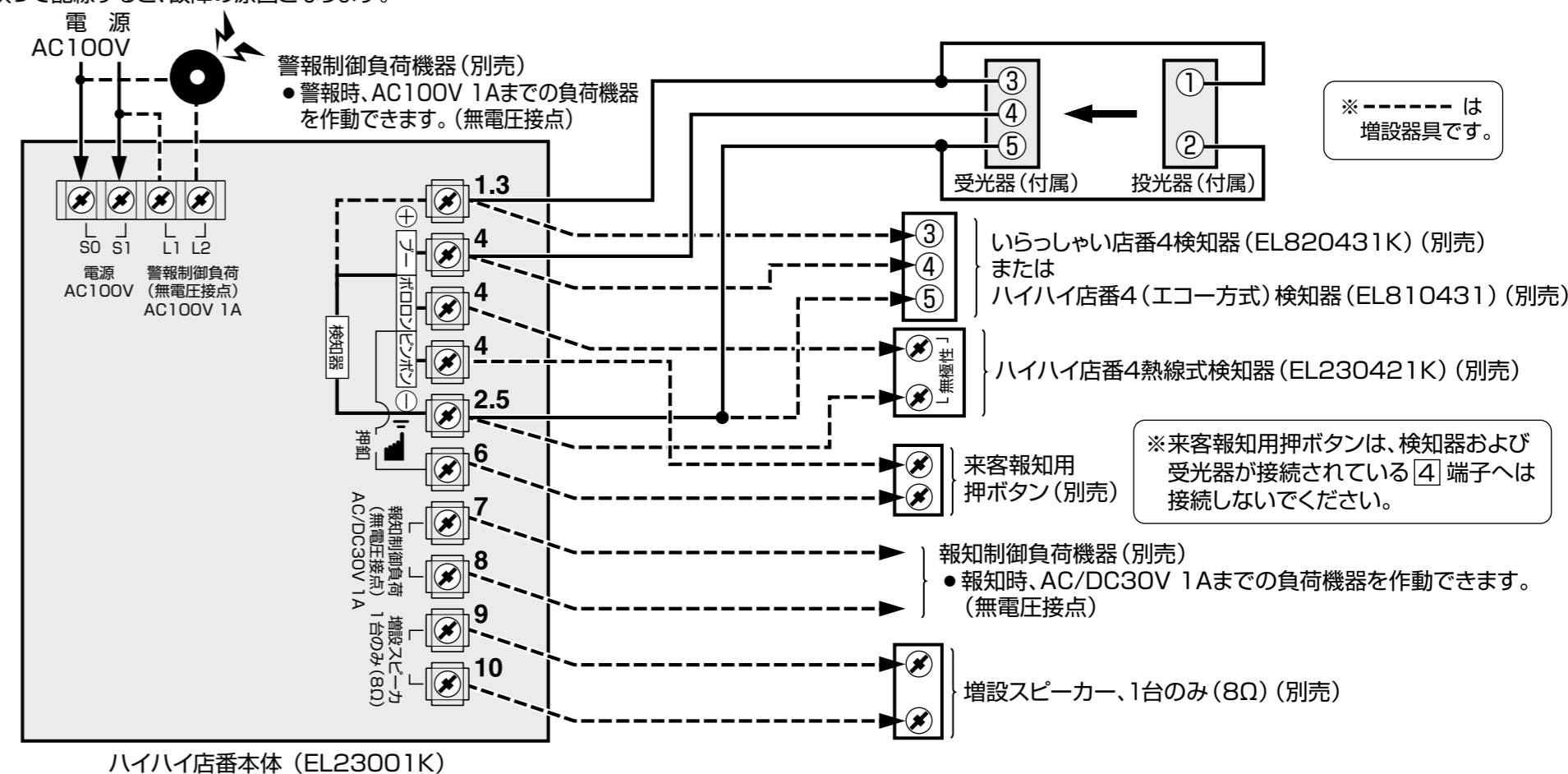
ハイハイ店番本体と検知器の使用条件

検知器の使用条件	接続可能台数				
	赤外線式検知器		熱線式検知器		
ハイハイ店番4(エコー方式)検知器(EL810431)	2台まで	2台まで	2セットまで	6台まで (④端子へ各2台)	6台まで (④端子へ各2台)
同じ検知器を使用する場合	2台まで	2台まで	2セットまで	6台まで (④端子へ各2台)	6台まで (④端子へ各2台)
赤外線式検知器を1台または1セット使用する場合	1台まで	1台まで	1セットまで	4台まで (④端子へ各2台)	4台まで (④端子へ各2台)

(2008年7月現在)

配線図

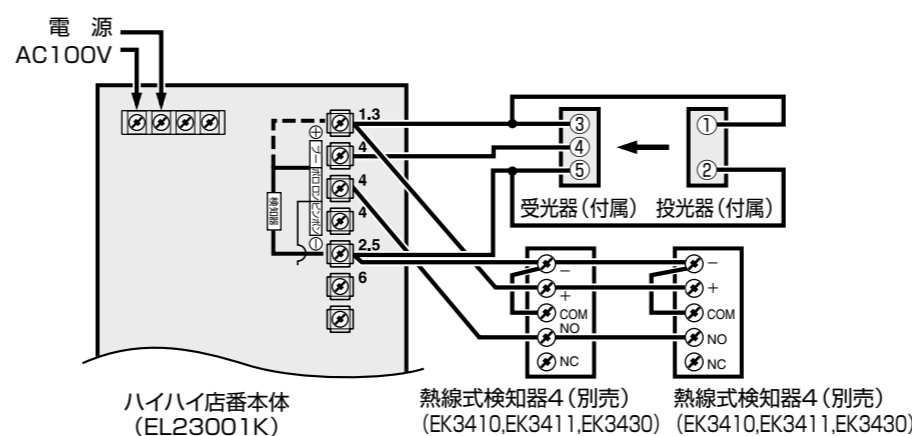
- ③④⑤の配線には極性があります。端子番号を合わせてください。誤って配線すると、故障の原因となります。



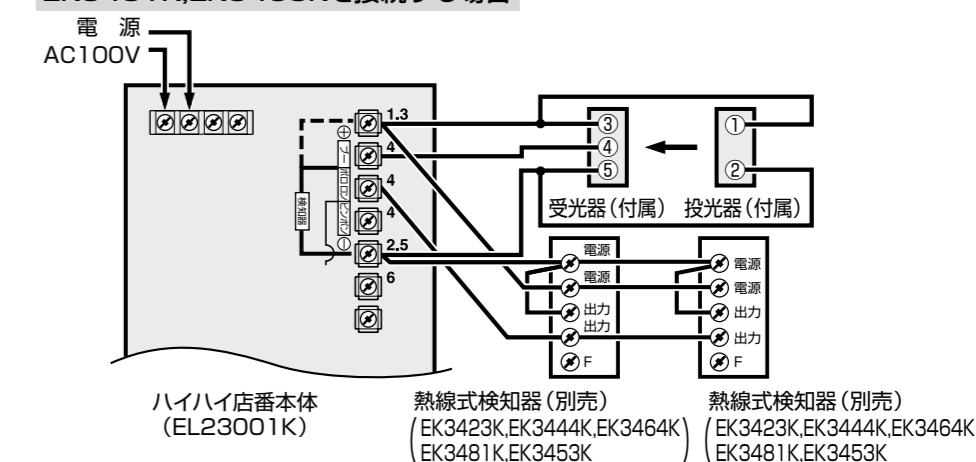
熱線式検知器4(別売)・熱線式検知器(別売)の接続方法

- ※2台接続する場合は、並列接続してください。

EK3410,EK3411,EK3430を接続する場合



EK3423K,EK3444K,EK3464K,EK3481K,EK3453Kを接続する場合



配線可能距離

- 報知・警報制御負荷端子への配線は接続機器の配線可能距離にしたがってください。

使用電線	0.5mmφ0.8	0.75mmφ1.0	1.25mmφ1.2	2.0mmφ1.6
店番本体~検知器	50m			
店番本体~投・受光器、来客報知用押ボタン	30m	50m	80m	130m
店番本体~増設スピーカー	100m			

音色の選択

音色	音量(可変)	鳴動時間
ピンポン	65dB以上	約3秒
ポロポン	65dB以上	約6秒
ブー	65dB以上	約2秒
警報側	70dB以上(可変不可)	約3~60秒(可変)または連続

- 来客報知用押ボタンを押した場合
●報知音は店番本体のモードに関係なく④端子で選択された音が鳴ります。また、報知制御負荷に接続した機器も動作します。
- 増設スピーカーを接続した場合
●増設スピーカーは、店番本体と同じ音色で鳴ります。

